

新年度（令和8年度）がスタート



子育てのお母さんにとって

- 子どもとゆったりと向き合うことができる
- 子育ての話ができる、相談ができる

子どもたちにとって

- 自由にゆったりできる時間・空間がある
- 魅力あるあそび場・活動の場がある
- いろんな人との出会いがある
- 安心でき、居心地がいい



遊びが子どもを育てることは、子ども館の核となる活動。

昔に比べると地域での遊びの環境がなくなり、遊び文化が伝承されにくくなっているなか、子ども館きららの中にたくさんの子どもたちが集う環境があり、そして、遊びを通して子どもたちが成長していく環境があることの意義は大きい。

平日の午後は、児童クラブの子どもたち、自由来館者をはじめたくさんの利用者でとてもにぎわいます。様々な友達との交流の中で遊びが豊かになり、友人関係を広げ、つながりを深めます。遊びへの興味・関心が子どもたちの心を動かします。自らかかわり、いろんな思いを持ちながら、自身で考え、決断し、行動し、責任を持つといった経験を積み重ね、子どもたちは独自性・自主性・社会性を身に付けていきます。遊びが子どもたちを育てていきます。

きららは5つの機能を持つ複合施設です。入園前の小さな子どもたち、小中学生、高校生、障害を持った子どもたち、いろんな子どもたちが、同じ一つの屋根の下で生活をします。とりわけ“木の実”さん（放デイの子どもたち）が同じ施設内に同居するのは全国的にも珍しい。きららの最大の特徴です。このことを大事に、しっかりと子どもたち一人一人と向き合いながら、子どもたち同士が互いの違いを認め合う、そして、集団の中で一人一人が輝ける、そんなインクルーシブな社会をきららのなかに具体化していくことが願いです。目指していきたいことです。それが、きららの役割でもあると思います。

子どもたち、子育てするお母さんたちにとってきららが居心地のいいところでありたい。保育士、看護師、子ども家庭支援員も配置され子育ての専門的な相談にもものってもらえます。土・日曜日も支援センター室が開放され、土曜日・日曜日に利用できます。支援員もいます。（祝日は開放しません）

今いるところがちょっと居心地が悪かったら、きららにいてみようかなと思えるようなきららにしていきたい。

居るところがなかったら、きららにおいて。

やることがなかったら、きららにおいて。

話せる人がいなかったら、きららにおいて。

分かってくれる人がいなかったら、きららにおいて。

きららは、ここにあるよ。

こども
まんなか

飯山市はR8.3に「こどもまんなか応援サポーター」宣言を行いました。



工作を楽しむことをメインに、子どもたちに楽しいひと時を提供することを願いながら開催しました。子どもたちの笑顔とともに、とても素敵な時間、空間でした。イベントの願いの一つが、中高生ボランティアの出番をつくることでした。大学生一名を含む15名の子どもたちが参加をしてくれました。中高生に社会参加を促していくことは、子ども館の大切な役割だと思っていますので大変うれしいことでした。

4月の予定

4月	曜	時間	イベント ●印は、だれでも参加可能です。	16	木		
1	水			17	金		
2	木			18	土		☺
3	金			19	日		☺
4	土			20	月	放課後の時間	●みんなでこのほり
5	日			21	火		
6	月		(飯山小 入学式)	22	水		
7	火			23	木		
8	水			24	金	10:45~11:15	(子) 図書館司書のお話会
9	木	10:15~11:40	(子) 保健師 発育測定・相談	25	土	10:00~14:00	(●きららであそぼう) ☺
10	金			26	日		☺
11	土			27	月		
12	日			28	火		
13	月			29	水		(昭和の日)
14	火			30	木		

☺：支援センター室開放

●ボルダリング …十曜(13:30~) …日曜・祝日(終日)
…平日<月・水>(下校時間から30分)

こども誰でも通園制度 が4月から子育て支援センターを窓口を開始されます！

保護者の就労等にかかわらず、乳幼児の子育てのサポートを行います。

子育て支援センターたんぽぽが窓口となりますので、詳しくはお問い合わせください。